

当院において食道胃接合部癌の治療を受けられた方 およびそのご家族の方へ

—「食道胃接合部癌における発がんメカニズムの解明と新規治療標的の探索的研究」

へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学学術研究院医歯薬学域 病理学（腫瘍病理）山元英崇

1) 研究の背景および目的

食道と胃の境界を「食道胃接合部」といい、ここでは食道の表層の重層扁平上皮から胃の腺組織を覆うような円柱上皮が切り替わる重層扁平-円柱上皮境界（SCJ）という領域が存在します。食道の一部として扱われることが多い食道胃接合部ですが、その顕微鏡的な特徴は他の食道の部位とは異なります。しかしながら食道胃接合部にフォーカスをあてた研究デザインの報告は非常に少なく、食道胃接合部癌の特徴については未解明な部分が多いのが現状です。

今回我々が解明しようとしているのは次のような事項です。

- ① SCJ によく感染するヒトパピローマウイルス（HPV）は癌の原因となることが知られていますが、一方で HPV に関連する癌は比較的経過良好で治療選択肢も多いことが知られています。また、HPV には予防のためのワクチンがあるので、ワクチン接種によって一定程度食道胃接合部癌が予防できる可能性があります。

食道胃接合部癌に HPV 関連の癌がどれだけ含まれているのかを確かめ、予防可能性や予後予測の細分化につながる新たな発見を目指します。

- ② 染色体の 9p21 に位置する CDKN2A と MTAP という分子は発がんに関与するといわれています。これらの分子が食道胃接合部癌においてどのような関わりをしているのかを明らかにします。
- ③ 近年開発が盛んな「分子標的薬」に関連する情報が、食道胃接合部癌については十分整理されていないというのが今日の状況です。本研究では治療への応用がされている、または今後される見込みがある病理学的な特徴について、食道胃接合部の標本にフォーカスし、①②で得られる知見も含めて整理、多面的に検討します。

以上研究によって得られる知見は、食道胃接合部癌の予防や、治療選択肢の細分化・増加につながり、患者さんの生活の質向上や、より経済的な治療につながることが期待されます。

2) 研究対象者

岡山大学病院において、2013 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに、食道胃接合部癌に対する手術を受けられた方 70 名が対象です。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用開始予定日：研究機関の長が許可した日から 1 週間後

4) 研究方法

2013 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに、岡山大学病院で食道胃接合部癌に対して手術された症例の、既存の組織標本（FFPE）を用いて研究を行います。

5) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている組織標本（FFPE 標本）を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

基本情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、診断名、病期、転移臓器、診断確定日、抗癌剤治療内容、抗癌剤開始日、治療効果、病勢増悪日、最終生存確認日、転帰

7) 試料・情報の保存

本研究で収集した試料・情報は、研究の中止または研究終了後 5 年が経過した日までの間施錠可能な腫瘍病理学教室研究室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 研究資金と利益相反

この研究の実施に際しては研究責任者が所属する診療科の運営費交付金を用いて行います。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者やその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

私たちはこの研究によって特許を得る可能性がありませんし、私たちはこの研究によって、企業からの寄付などの経済的利益を得る可能性もありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 病理学（腫瘍病理）

氏名：堀川恭佑、要川雄紀

電話：086-235-7150（平日：08 時 30 分～17 時 00 分）